

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：京進のほいくえん HOPPAパークシティ武蔵小杉	種別：川崎市認可保育園
代表者氏名：深見 真奈	定員（利用人数）： 70名
所在地： 神奈川県川崎市中原区小杉町2丁目228番地1パークシティ武蔵小杉 ザガーデンタワーズウエストW9（2階）	
TEL：044-712-5071	ホームページ： https://keceg.jp/school/hoppa-musashikosugi/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 京進	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 9名
	（専門職の名称） 名 保育士、事務員
	施設長、副主任保育士、保育士
	看護師、調理員、英語講師
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室 6 子どもトイレ 2
	遊戯室 0 大人トイレ 3
	更衣室 1 園庭 有(○) 無()
	事務室 1 その他
	調乳室 1

③ 理念・基本方針

【 保育理念 】

子どもたちの自立を育み、輝きを引き出し、健やかな成長を応援します。

◇ひとりひとりを大切にする保育

個々の発達段階を丁寧に見つめ、ふさわしい援助を心がけます。

◇主体性を大切にする保育

子ども自身が持つ、伸びようとする力を育てていきます。

【 保育の基本方針 】

<卓越した安全安心>

(安全)園内外における子どもを取り巻くすべての人的環境、物的環境を整え、
全職員の共通理解や体制づくりを最優先に取り組みます。

(安心)子どもたちが豊かな愛情の中で情緒の安定した生活ができる環境を作るため、
「報告」・「連絡」・「相談」を実践します。

<心身の健やかな成長と自立>

- ・人との関わりを大切にし、愛情や信頼感・自主協調性を養い、自分で考え、行動しようとする子どもの「生きる力」を大切にします。
- ・さまざまな体験を通して興味関心を高め、豊かな感性を育みます。

<家庭と地域への子育て支援>

- ・お子さまの生活が家庭と保育園で一体となるよう、多様化した家庭の実態を受け止め、よりよい協力関係を築きます。
- ・関係機関と連携を図りながら、保育所の専門性を生かし、地域の子育て支援に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<教育目標>

- 「英」…さまざまな活動を通し、英語に触れ親しみ、国際力を育みます。
- 「知」…生活の中で知的好奇心を高め、学ぶ力を育みます。
- 「人」…子どもの持つ「なぜ？」を大切にし、協働性の中で生きる力を育みます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月13日（契約日）～ 2024年1月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

〇こどもの成長を長期的に見据えた保育を実践しています

HOPPAパークシティ武蔵小杉では、遊びを中心とした生活の中で、ひとりひとりを大切に、そして主体性を大切にしています。

「遊びながら」「楽しく」「自然に」こどもたちが様々な体験を通して、興味や関心を高め知的好奇心を満たせるよう、年齢に応じて「知育」「英語」「プログラミング」などを取り入れています。こどもが自ら「参加したい」「やってみたい」と思えるように働きかけを工夫し、「面白い」「分かった」につなげ、自己肯定感や生涯の生きる力の土台となるようにという願いのもと、取り組んでいます。園では、現在の取り組みや保育が卒園後のこどもたちの成長にどう活かしているかを把握できるよう、「卒園プロジェクト」の検討を行っています。保育の結果はすぐに表れるものではないことから、卒園児の5年後、10年後の姿、学力、生活を追い、その姿から得たことを再び保育に活かすことができるようにと、長期的な視点で保育を行っています。

〇地域交流を通して、こどもの生活体験や社会体験を増やしていくことが望まれます

コロナ禍を過ごしたことや近隣の環境も重なり、地域の方と接する機会や社会体験を得られる機会があまり持てていません。また、近隣の小学校は開校4年目ということもあり、小学校との交流会や、小学校の生活についてこどもたちが見通しを持てるような機会が持てていません。小学校の体育館見学や消防署見学など、できることには取り組んでいます。こどもたちが自分の住む地域について知り、積極的に関わり、愛着を持って生活できるよう、園の方から地域に働きかけていく姿勢を持つことが、更なる保育の質の向上につながるでしょう。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、福祉サービス第三者評価を受審し、当園の提供している保育サービスの質について、専門的かつ客観的な立場から評価をいただきました。

当園では初となる第三者評価の受審にあたり、客観的評価はどのようなものになるのかと、当初は一抹の不安もありましたが、調査員の皆様の丁寧で厚意的なご発言や立ち居振る舞いに励まされ、安心して評価をいただくことができました。誠にありがとうございました。

評価結果については、保育施設としてあるべき姿、現状の不十分な状況を再確認し、改善すべき点などの気づきに役立ちました。実際の保育場面での子どもたちの様子や現場の保育士の声にも、真摯に耳を傾け、温かいまなざしで見守っていただき、現場の保育士も日々の保育の自信につながったと思います。

評価の高い点については、今後さらに推進し、改善を求められた点については、十分検討を重ねたうえで、職員一体となり、福祉サービスの質の向上に努め、より良い施設を目指していきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり